八高支スクールライフ

青森県立八戸高等支援学校
発行：令和６年１月２６日
第８号

知ること

新年早々、心が重くなる出来事が続き、気持ちが落ち着かない年明けとなりました。少しずつ少しずつ穏やかな日々が訪れることを祈っています。

ところで、皆さんは後ろに泳ぐ魚を見たことがありますか。昨年青森県立八戸水産高校との授業の際に、魚が後ろに泳いでいる様子を目撃。自分の目を疑い、水産高校の生徒に尋ねると、一部の魚は、後ろ向きに泳ぐことがあるということを教えてくれました。このことを知ったときに、なぜか嬉しくなり周りの人に教えたくなりました。そして、そのような泳ぎ方をする理由を調べたくなりました。この出来事を通して、大人になっても、どんなに小さなことであっても何かを知ったとき「嬉しい」という気持ちが沸き起こり、次の行動に繋がるということを体感しました。生徒たちも授業を通して同じようなことを経験していると思います。「分かった、できた」「もっと知りたい、もっとできるようになりたい」「どうしたらできるようになるかな」等という気持ちをもちながら日々学習に取り組んでいます。これからも生徒たちが「知る喜び」を積み重ねて、「自分から様々なことに向かっていく態度」を育めるような授業を作っていきたいと思います。

最後に、元々は地中海に生息していた巻き貝が八戸の海でも捕獲されるそうです。なぜでしょうか。ヒントはバラスト水です。

（普通科主任　差波）

さめ保育交流〔１２月１９日〕

普通科では、年間を通してさめ保育園を訪問し、絵本の読み聞かせやレクリエーションなどの交流活動を実施しています。１２月は３年４組と５組の生徒が、園児のために計画した「クリスマス会」を行いました。

「あわてんぼう」のサンタさんとトナカイ役の生徒が音楽に合わせて登場すると、園児は大喜び。生徒たちから手作りの飾りをもらって、高さ２メートルの巨大ツリーをきれいに飾りつけました。

後半は音楽とスポーツの交流を楽しみました。生徒がハンドベルとトーンチャイムで音楽演奏を披露した後、園児に優しく教えながら合奏にチャレンジ。最後は、ボッチャ体験で盛り上がりました。

地域の子どもたちに、八高支のお兄さん・お姉さんの優しさや元気さが伝わる交流会になりました。（阿部直）

障害者就労・生活支援センターみなと見学

普通科２年５、６組では、グループホーム　トミー・マーチ、障害者就業・生活支援センターみなと（以下みなと）の見学を行いました。実際にグループホームを見学し、利用者の方が自立した生活をしている様子に興味津々でした。みなとの見学では、卒業後の相談機関の役割について説明を受けました。職場の人間関係についての相談や SNS 上のトラブルも多いことが分かりました。生徒が「今までで一番困った相談ごとは何でしたか」と聞いたところ「警察にお世話になるようなことです。生徒の皆さんも日頃から気を付けてくださいね。」と助言をいただきました。どちらの見学も卒業後の生活を考える良いきっかけとなりました。（蓮見）

継続は力なり〔12 月 12 日〕

１年８組では、春から継続して「自立活動」の学習に力を入れてきました。

最初に、気持ちを切り替えて、課題に取り組む心の準備をする「黙想」を５分間します。初めは難しかったので３分間からスタートしました。少しずつ時間を長くし、今では「５分間静かにする」ことに集中してできるようになりました。

その後、スケジュールを見ながら個別の課題に取り組みます。封入作業や、ねじ締め、紙のクリップ留めやモップ掛け等、個々の課題で、できる個数が増え、集中できる時間も延びてきました。課題を終えた際の「終わりました。」という報告も上手になり、成長を感じています。（髙橋成）

おしらせ　〔県立学校への連絡方法が変わります〕

１月１１日の新聞報道等で、青森県教育委員会より、**「保護者等外部からの電話連絡対応は勤務時間内を基本とし、時間外はデジタルの連絡フォームを使用する」**と発表がありました。

本校では、すでに出欠等の連絡を連絡フォームの活用と電話による連絡を併用しております。御協力ありがとうございます。**今後、連絡フォームの改良を行い、２月下旬を目標に、時間外の電話連絡をすべて連絡フォームに切り替えることになります。（本校の電話対応時間８：１０～１６：４０）**

今後、保護者案内や行事予定、各種通信等もデジタル化し、紙媒体での配布をなくし、スマホ等でいつでも気軽にみられるように移行していきます。

詳細は決定しだい改めて御案内しますので、御協力よろしくお願いします。